

3-7 災害・感染症等への備え

施策名	(1) 多様な支援ツールの確保 (2) I C T等の活用促進 (3) 介護サービス事業所・施設等との情報共有・連携 (4) 他職種等との情報共有・連携
-----	---

現行施策の方針	○災害・感染症等の発生時においても、高齢者の心身の健康や生活の質の低下を最小限に食い止めるため、市、地域住民・団体、介護保険サービス事業者等の役割を明確化し、途切れない支援・見守り体制の構築を図っていきます。 ○平時から災害時等を見据えた研修・訓練・備蓄等の実施や各種事業・支援におけるオンライン等を活用した多様な取組を推進します。
---------	---

評価指標	実績値			目標値
	令和元年度	令和4年度	令和7年度	
研修・訓練及びI C T導入状況等に係る実態調査	—	—	各1回	各1回

3 安心して暮らすための環境づくり

3-7 災害・感染症等への備え

【現状整理】

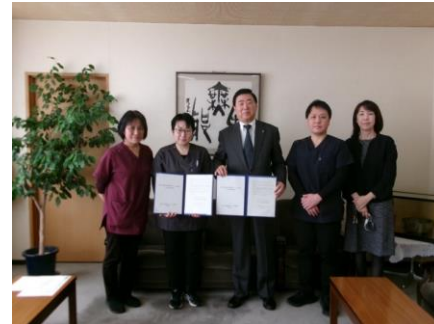
(1) 平時からの備え

- ・ 地域の実情に合わせ、地域包括支援センターでは、地域ケア会議、地区協議会、防災訓練などの機会を活用し、災害に向けての備え、感染症予防の備えをテーマに取り上げ、自助共助について地域住民と共有を図りました。
- ・ 要配慮者（高齢者、認知症のある方など）への対応、避難の声掛け時の課題など、具体的な検討を重ね啓発を実施しています。
- ・ 地域包括支援センターの業務継続計画（BCP）を整え、発災から終息1か月ごろまでを想定し共有しています。定期的に図上訓練を重ね、各フェーズに想定される伝達手段、必要物品、約束事、介護予防、感染症予防の啓発内容など随時見直しています。
- ・ 保健所をはじめ、東京都・庁内関係部署・医療介護事業所や市内福祉施設等と連携して、災害・感染症に備えた勉強会、意見交換会、ネットワークの検討会など実施しました。

(2) 介護サービス事業所・施設等との情報共有・連携

以下について情報共有と連携を図りました。

- ・ 災害協定
 - R8.3 調布市訪問看護ステーション協議会
 - R8年度中 介護支援専門員調布連絡協議会（調整中）
- ・ 介護サービス事業所等における業務継続計画（BCP）の徹底・充実
- ・ 職能団体等と連携した災害対応力の強化
- ・ 福祉避難所開設訓練の実施



（調布市訪問看護ステーション協議会 協定締結）

3 安心して暮らすための環境づくり

3-7 災害・感染症等への備え

(3) 感染症等災害対策につながる I C T 等の活用促進

- ・オンラインツールを活用した会議・研修等の実施、デジタル情報の活用を促進することで、感染症蔓延期等災害時でもサービスを継続して提供できる環境・体制の構築に平時から取り組んでいます。
- ・医療介護の現場でコミュニケーションツールの一つである M C S を活用し、感染症蔓延期等災害時でも場所を問わない情報共有として、地域包括ケア・多職種連携に平時から取り組んでいます。

どのような時にご近所付き合いの必要性を感じますか。【緊急時や災害時の助け合いが必要なとき】 (%)

とても感じる	感じる	あまり感じない	感じない	わからない	不明・無回答
33.0	46.6	8.5	3.2	2.7	6.0

あなたは次の事柄について、①家族以外のまわりの人から手助けをしてほしいと思いますか。②また、まわりの人に手助けできること（してもいいこと）はありますか。【災害時避難の手助け】 (%)

①手助けしてほしいか			②手助けできるか		
してほしい	してほしくない	不明・無回答	できる・してもいい	できない・しない	不明・無回答
60.2	27.2	12.6	56.9	30.8	12.3

あなたは地域での活動に参加したり、地域のために日頃から心掛けていることはありますか。①現在の状況、②今後の意向をお答えください。【防災訓練や災害時に救援・支援をする活動】 (%)

①現在の状況					②今後の移行				
週1回以上取り組んでいる (心掛けている状態を含む)	月1回以上取り組んでいる (心掛けている状態を含む)	年数回程度取り組んでいる (心掛けている状態を含む)	取り組んでいない	不明・無回答	取り組みたい	興味がある	取り組まない、興味がない	わからない	不明・無回答
1.3	1.3	8.8	79.1	9.5	7.3	25.9	13.1	40.0	13.7